

第41期 決算公告

平成23年6月21日
東京都品川区東品川四丁目12番7号
株式会社日立ソリューションズ

貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流动資産	121,837	流动負債	55,382
現金及び預金	351	買掛金	19,611
受取手形	181	リース債務	363
売掛金	74,025	未払金	9,763
商品及び製品	1,073	未払費用	13,298
仕掛品	10,196	未払法人税等	287
預け金	28,239	未払消費税等	2,048
繰延税金資産	5,925	前受金	7,517
その他の	1,914	預り金	509
貸倒引当金	△70	受注損失引当金	1,715
固定資産	89,906	プログラム補修引当金	239
有形固定資産	30,012	その他の	27
賃貸営業資産	44		
建物	12,515	固定負債	32,020
構築物	179	リース債務	471
機械及び装置	17	退職給付引当金	30,027
工具、器具及び備品	1,427	役員退職慰労引当金	273
土地	14,848	その他の	1,248
リース資産	829		
建設仮勘定	150	負債合計	87,403
無形固定資産	13,274	(純資産の部)	
ソフトウェア	9,347	株主資本	119,723
ソフトウェア仮勘定	3,864	資本剰余金	38,372
その他の	62	資本準備金	41,514
投資その他の資産	46,618	利益剰余金	41,514
投資有価証券	10,844	利益準備金	39,836
関係会社株式	13,758	その他利益剰余金	2,787
長期貸付金	9	別途積立金	37,049
敷金及び保証金	5,401	繰越利益剰余金	18,800
長期前払費用	387	評価・換算差額等	18,249
前払年金費用	4,950	その他有価証券評価差額金	4,616
繰延税金資産	9,938	繰延ヘッジ損益	4,730
その他の	1,722		△114
貸倒引当金	△393	純資産合計	124,340
資産合計	211,743	負債及び純資産合計	211,743

損 益 計 算 書

(自 平成22年4月1日)
(至 平成23年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		189,239
売 上 原 価		148,208
売 上 総 利 益		41,030
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		27,934
營 業 利 益		13,096
營 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	855	
雜 収 入	122	978
營 業 外 費 用		
固 定 資 產 处 分 損	58	
雜 損 失	139	197
經 常 利 益		13,877
特 別 利 益		
関 係 会 社 株 式 売 却 益	13	13
特 別 損 失		
減 損 損 失	242	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	82	
資 產 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	81	
そ の 他	12	419
稅 引 前 当 期 純 利 益		13,471
法 人 稅 、 住 民 稅 及 び 事 業 稅	5,018	
法 人 稅 等 調 整 額	640	5,658
当 期 純 利 益		7,813

株主資本等変動計算書

(自 平成22年4月1日)
(至 平成23年3月31日)

(単位:百万円)

資本金	株主資本										株主資本合計	
	資本剩余金			利益剩余金				その他利益剩余金				
	資本準備金	その他資本剩余金	資本剩余金合計	利益準備金	プログラム準備金	別途積立金	繰越利益剩余金	利益剩余金合計				
平成22年3月31日残高	34,182	35,235	—	35,235	2,537	150	—	14,840	17,527	86,945		
当期中の変動額											—	
剩余金から資本金への振替	4,190		△4,190	△4,190							—	
剩余金から準備金への振替		6,279	△6,279	—							—	
合併による増加			10,469	10,469							32,987	
プログラム準備金の取崩											—	
剩余金の配当											△8,022	
当期純利益											△8,022	
株主資本以外の項目の												
当期中の変動額(純額)											7,813	
当期中の変動額合計	4,190	6,279	—	6,279	250	△150	18,800	3,409	22,309	32,778		
平成23年3月31日残高	38,372	41,514	—	41,514	2,787	—	18,800	18,249	39,836	119,723		

(単位:百万円)

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
平成22年3月31日残高	4,446	—	4,446	91,392
当期中の変動額				—
剩余金から資本金への振替				—
剩余金から準備金への振替				—
合併による増加	503		503	33,490
プログラム準備金の取崩				—
剩余金の配当				△8,022
当期純利益				7,813
株主資本以外の項目の				
当期中の変動額(純額)	△218	△114	△333	△333
当期中の変動額合計	284	△114	169	32,948
平成23年3月31日残高	4,730	△114	4,616	124,340

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

子会社株式及び関連会社株式
その他有価証券

時価のあるもの

時価のないもの

(2) デリバティブ

(3) たな卸資産

商品及び製品

仕掛品

移動平均法による原価法

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

移動平均法による原価法

時価法

移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

（リース資産を除く）

(2) 無形固定資産

（リース資産を除く）

(3) リース資産

定率法（但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）については定額法）

定額法

なお、市場販売目的のソフトウェアについては、販売可能な見込有効期間（3年以内）に基づく定額法、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（3年及び5年）に基づく定額法によっております。所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

営業債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 受注損失引当金

ソフトウェア・サービスの請負契約に基づく開発のうち、期末時点で将来の損失が見込まれ、かつ、当該損失額を合理的に見積もることが可能なものについては、翌期以降に発生が見込まれる損失額を計上しております。プログラムの無償補修費用の支出に備えるため、過去の実績率に基づく将来発生見込額を計上しております。

(3) プログラム補修引当金

従業員の退職給付に備えるため、期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

数理計算上の差異については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数による定額法により、翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

過去勤務債務については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数による定額法により費用処理しております。

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく必要額を計上しております。

なお、平成20年2月28日及び平成20年3月27日開催の報酬委員会において、役員退職慰労金の廃止を決定し、廃止に伴う打切り日（平成20年3月31日）までの在任期間に對応する退職慰労金として、従来の役員退職慰労金規則に基づいて、当期末における支給見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

成果の確実性が認められるプロジェクトについては進行基準、その他のプロジェクトについては完成基準を適用しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) ヘッジ会計の方法

①ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

- ②ヘッジ手段とヘッジ対象
 ヘッジ手段…為替予約及び通貨オプション
 ヘッジ対象…外貨建金銭債務
- ③ヘッジ方針
 外貨建金銭債務の為替変動リスクを回避し、安定的な利益の確保のため、予定取引の範囲内でヘッジを行っております。
- ④ヘッジ有効性評価の方法
 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象とヘッジ手段の相場変動の累計を比較し、両者の変動額等を基礎にして判断しております。

(2) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

6. 重要な会計方針の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当期より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。
 これによる損益へ与える影響は軽微であります。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額	18,153百万円
2. 保証債務	
従業員の金融機関からの住宅取得資金借入に対する債務保証	644百万円
3. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	70,891百万円
長期金銭債権	29百万円
短期金銭債務	16,178百万円

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高	
売上高	97,574百万円
仕入高	21,490百万円
その他の営業取引高	8,738百万円
営業取引以外の取引高	686百万円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当期末における発行済株式の種類及び総数
 普通株式 85,113千株
2. 配当に関する事項
 (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	基準日	効力発生日
平成22年5月27日 取締役会	A種種類株式	1,193百万円	平成22年3月31日	平成22年6月1日
平成22年10月27日 取締役会	普通株式	1,808百万円	平成22年9月30日	平成22年12月1日
平成23年3月30日 取締役会	普通株式	5,021百万円	平成23年3月31日	平成23年3月31日
計		8,022百万円		

(2) 基準日が当期末に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期になるもの

決議	株式の種類	配当金の原資	配当金の総額	基準日	効力発生日
平成23年5月30日 取締役会	普通株式	利益剰余金	3,034百万円	平成23年3月31日	平成23年6月1日

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産の発生の主な原因是、退職給付引当金、未払賞与の否認等であり、繰延税金負債の発生の主な原因是、前払年金費用、その他有価証券評価差額であります。

なお、繰延税金資産から控除した評価性引当額は6,330百万円であります。

(リースにより使用する固定資産に関する注記)

貸借対照表に計上した固定資産のほか、電子計算機及び自社利用ソフトウェアの一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については、主に日立グループ・ブーリング及び安全性の高い有価証券等を対象にしております。

受取手形及び売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規定に沿ってリスク低減を図っております。また、投資有価証券及び関係会社株式のうち上場株式等については、四半期ごとに時価の把握を行っております。

デリバティブは、取引権限を定めた社内規定に従って行っており、またデリバティブの利用にあたっては、信用リスクを軽減するために、格付の高い金融機関とのみ取引を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日(期末日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

科 目	貸借対照表 計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金及び預金	351	351	—
(2) 受取手形	181	181	—
(3) 売掛金	74,025	74,025	—
(4) 預け金	28,239	28,239	—
(5) 投資有価証券 その他の有価証券	9,808	9,808	—
(6) 関係会社株式 子会社株式	350	5,674	5,324
関連会社株式	9,082	7,455	△1,627
(7) 買掛金	(19,611)	(19,611)	—
(8) デリバティブ(*2)	9	9	—

(*1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(*2)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 受取手形、(3) 売掛金、及び(4) 預け金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 投資有価証券、及び(6) 関係会社株式

これらの時価については、株式は取引所の価格によっており、債券は取引金融機関から提示された価格によっております。

(7) 買掛金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(8) デリバティブ

時価については、金融機関から提示された価格によっております。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式(貸借対照表計上額5,361百万円)は、市場価額がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5) 投資有価証券 その他の有価証券」、「(6) 関係会社株式 子会社株式」及び「(6) 関係会社株式 関連会社株式」には含めておりません。

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社及び法人主要株主等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	株日立製作所	直接 100%	情報システム・ソフトウェアの開発等及び販売用電子計算機等の仕入等	情報システム・ソフトウェアの開発等(注)1	95,665	売掛金	41,821
				電子計算機等の仕入等(注)1	8,089	買掛金	1,867
				日立グループ・プリング(注)2	1,570	預け金	28,239
				受取利息(注)2	86		
				連結納税に伴う支払予定額(注)3	3,477	未払金	3,477

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 情報システム・ソフトウェアの開発等、電子計算機等の仕入等については、価格交渉により決定しております。
2. 日立グループ・プリングの取引金額については、預入額と払出額の純額で記載しております。また、利率については、市場金利を勘案し、一般的な取引条件と同様に決定しております。
3. 連結納税制度による連結法人税の支払予定額であります。
4. 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含まず、預け金及び未払金以外の期末残高には消費税等を含んでおります。

2. 子会社及び関連会社等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	日立ビジネスソリューション(株)	直接 53.9%	ソフトウェアの開発委託	ソフトウェアの開発委託(注)1	6,451	買掛金	1,359

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. ソフトウェアの開発委託については、価格交渉により決定しております。
2. 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含まず、期末残高には消費税等を含んでおります。

(1株当たり情報に関する注記)

- 1 株当たり純資産額 1,460円88銭
1 株当たり当期純利益 91円80銭

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

1. 企業結合等に関する事項
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社と株式会社日立システムアンドサービスは平成22年5月27日に締結した合併契約書に基づき、平成22年10月1日付で合併し、株式会社日立ソリューションズに商号変更しております。
2. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。